

第14号
2005.8.20

れんめい

発行 日本歯科技工士連盟
東京都新宿区市谷左内町21-5
日本歯科技工士会館内
発行人 奥村厚史
編集 日本歯科技工士連盟
発行日 平成17年8月20日(土)

第二十一回参議院議員通常選挙比例代表選出議員候補予定者に

中西茂昭氏の推薦決定！

日本歯科技工士連盟 平成十七年度第一回評議員会

日本歯科技工士連盟(会長 中西茂昭)は、去る七月二十一日、東京市谷の日本歯科技工士会館において平成十七年度第一回評議員会を開催した。第一号議案・平成十六年度活動一般報告、第二号議案・平成十六年度会計収支決算の承認を求める件が賛成多数

で可決承認された後、第三号議案・第二十一回参議院議員通常選挙比例代表選出議員候補予定者推薦決定の件を審議。組織代表である中西茂昭氏の推薦が決定された。これにより、捲土重来を期すこととなった。

日本歯科技工士連盟は七月二十二日(金)午後三時より東京・市谷にある日本歯科技工士会館において平成十七年度第一回評議員会を開催した。評議員会は、議長団の任期満了に伴い、規約に則り新議長団の選出から行われ、議長に高橋俊秋評議員(茨城)、副議長に廣門俊信評議員(福岡)を選出した。次いで廣門副議長より評

議員の氏名点呼が行われ、六十名中五十九名の出席が確認された。議長は日技連盟規約に則り、本評議員会が成立することを議場に告げ、開会を宣言。引き続き議事録署名人の選出を行い、赤塚幸伸評議員(山形)、川島環評議員(鳥取)が選出された後、会長挨拶が行われた(別掲)。

その後、役員改選により新たに選任された執行役員の紹介が古橋理事長より行われ、会長より、このメンバーで託された三年間の任期中、歯科技工士に係る環境整備に全力で取り組む旨の所信表明があった。引き続き議長より議案の審議に入る旨が宣せられ、第一号議案・平成十六年度活動一般報告、第二号議案・平成十六年度会計収支決算の承認を求める件が一

括上程された。第一号議案は、保田副会長から、第二十一回参議院議員通常選挙への取組みを中心として平成十六年度に行われた連盟活動が報告書に基づき報告された。第二号議案は、国府田副理事長より平成十六年度一般会計収支決算報告、平成十六年度時局対策積立金会計収支決算報告、平成十六年度組織内国会議員擁立支援金会計収支決算報告が各々の決算書に基づき行われた。

続いて議長は第三号議案・第二十一回参議院議員通常選挙比例代表選出議員候補予定者推薦決定の件の上程を執行部に求めた。古橋理事長より、歯科技工士の代表を立法院に送ることにより、歯科技工士の主張を国政に反映させるとともに、歯科技工関連問題の窓口として機能させ、未来を切り拓いていこうとの認識のもとに、昨年九月組織内候補の擁立が承認され、以後二度にわたり候補者選考委員会を開催し、組織代表の中西茂昭氏を選考し、選考委員会規程に則り総務会の承認を得て本評議員会に議案として上程した旨の上程説明が行われた。

次いで議長は、候補者選考委員会の経過報告を大日向均選考委員会委員長(秋田)に求めた。大日向委員長から、平成十六年度第二回評議員会を経て、四月二十八日までの期限内で各ブロックにおいて候補者としての適任者の有無の報告を求めたが、中西茂昭氏以外の固有名詞が挙がらなかったため、五月二十日に第二回候補者選考委員会を開催し、改めて中西茂昭氏に関し候補者としての適正を諮り、委員会とし

て最適任と判断し選考した旨の経過報告が行われた。その後、質疑応答に入り、いくつかの質疑応答を経て、賛成多数により日本歯科技工士連盟として中西茂昭氏を第二十一回参議院議員通常選挙比例代表選出議員候補予定者として推薦す

ことですので、皆さん方には忸怩たる思いを今もつてさせていることに心を痛めておりますが、必ず意志を貫いて、我々のよりよい環境を我々の汗でかち取るという思いで今後も進んでまいりたいと思っております。なお、五十周年には顕彰という花がございませぬ。多くの諸先輩の皆さんが中心になろうかと思っておりますが、目下のところ厚生労働大臣表彰として五十六名を申請しているところでございます。日技会長表彰が五十三名、政局が少し動いてはおりますが、自民党の総裁感謝状が六十名ということ、多くの皆さん方に我々の気持ちを届けたいと思っております。加えて日技功労章、紫紺賞等々の顕彰もこれから手順を踏んで、進めてまいりたいと思っております。

本日の評議員会が議長団の差配により、そして皆さん方の前向きなご発言等々によりまして意義のある会議になることをお願い申し上げます。議長はここで協議事項に入る旨を議場に告げ、「組織機構改革検討委員会中間答申を受けての日技連盟組織の在り方について」ならびに「第二十一回参議院議員通常選挙対策について」の二点が古橋理事長より説



▲第21回参議院選関連議案が審議された平成17年度第1回評議員会

続いて議長は、候補者選考委員会の経過報告を大日向均選考委員会委員長(秋田)に求めた。大日向委員長から、平成十六年度第二回評議員会を経て、四月二十八日までの期限内で各ブロックにおいて候補者としての適任者の有無の報告を求めたが、中西茂昭氏以外の固有名詞が挙がらなかったため、五月二十日に第二回候補者選考委員会を開催し、改めて中西茂昭氏に関し候補者としての適正を諮り、委員会とし

ことですので、皆さん方には忸怩たる思いを今もつてさせていることに心を痛めておりますが、必ず意志を貫いて、我々のよりよい環境を我々の汗でかち取るという思いで今後も進んでまいりたいと思っております。なお、五十周年には顕彰という花がございませぬ。多くの諸先輩の皆さんが中心になろうかと思っておりますが、目下のところ厚生労働大臣表彰として五十六名を申請しているところでございます。日技会長表彰が五十三名、政局が少し動いてはおりますが、自民党の総裁感謝状が六十名ということ、多くの皆さん方に我々の気持ちを届けたいと思っております。加えて日技功労章、紫紺賞等々の顕彰もこれから手順を踏んで、進めてまいりたいと思っております。

本日の評議員会が議長団の差配により、そして皆さん方の前向きなご発言等々によりまして意義のある会議になることをお願い申し上げます。議長はここで協議事項に入る旨を議場に告げ、「組織機構改革検討委員会中間答申を受けての日技連盟組織の在り方について」ならびに「第二十一回参議院議員通常選挙対策について」の二点が古橋理事長より説

ことですので、皆さん方には忸怩たる思いを今もつてさせていることに心を痛めておりますが、必ず意志を貫いて、我々のよりよい環境を我々の汗でかち取るという思いで今後も進んでまいりたいと思っております。なお、五十周年には顕彰という花がございませぬ。多くの諸先輩の皆さんが中心になろうかと思っておりますが、目下のところ厚生労働大臣表彰として五十六名を申請しているところでございます。日技会長表彰が五十三名、政局が少し動いてはおりますが、自民党の総裁感謝状が六十名ということ、多くの皆さん方に我々の気持ちを届けたいと思っております。加えて日技功労章、紫紺賞等々の顕彰もこれから手順を踏んで、進めてまいりたいと思っております。

本日の評議員会が議長団の差配により、そして皆さん方の前向きなご発言等々によりまして意義のある会議になることをお願い申し上げます。議長はここで協議事項に入る旨を議場に告げ、「組織機構改革検討委員会中間答申を受けての日技連盟組織の在り方について」ならびに「第二十一回参議院議員通常選挙対策について」の二点が古橋理事長より説

ことですので、皆さん方には忸怩たる思いを今もつてさせていることに心を痛めておりますが、必ず意志を貫いて、我々のよりよい環境を我々の汗でかち取るという思いで今後も進んでまいりたいと思っております。なお、五十周年には顕彰という花がございませぬ。多くの諸先輩の皆さんが中心になろうかと思っておりますが、目下のところ厚生労働大臣表彰として五十六名を申請しているところでございます。日技会長表彰が五十三名、政局が少し動いてはおりますが、自民党の総裁感謝状が六十名ということ、多くの皆さん方に我々の気持ちを届けたいと思っております。加えて日技功労章、紫紺賞等々の顕彰もこれから手順を踏んで、進めてまいりたいと思っております。

質疑応答 要旨

第一号・第二号議案関係

問 次期繰越金が多いが、もう少し時局対策積立金のほうに繰り入れることをしたいのはなぜか。

答 収入が

安定しない。この程度繰り入れないと次期の活動がしにくくなるためである。

問 諸懸案解決に向けた推薦議員への働きかけと支援活動とあるが、経済を中心としてどのような活動を行ってきたのか。

答 まず従前の経過を共通認識として持つため資料を精査し、厚生労働省の担当者に申し入れを行った。

日を置いて日本歯科医師会とも話をしたいとのことだったので、日本歯科



医師会の専務に面談を申し入れ、歯科技工に係る告示を遵守する手法を提示いただきたくと伝えた。

それ以外にあらゆる機会を通じて国会議員の先生方に懸念に現状を報告し、改善を求めている。また、地方を通じて、それぞれの推薦候補者には同様な申し入れを日常的に行っているところである。

経済問題については大きな壁があるといわざるを得ない状況である。この壁を破る手法は皆さんすでに一度経験なさっている。我々が改めて決意をもって取り組めるかどうか。これらの運動の展開がひとつの鍵となる。

問 第二十一回も選挙に立候補しようとする今回、倍の票を獲得しなければならぬと考える。選挙委員会で倍の票を獲得する見込みがあつて候補予定者を推薦したのかというところをお聞きしたい。また、我々にお聞きしたいと判断してよいのか。

答 選挙委員会の使命は票を倍にすることを検討することではなく、誰を候補予定者として選挙するかということ。選挙に風はつきものだが、今のところ次回の選挙も十五、六万が一つのボーダーラインと考えていると思う。今後も皆さんと会議を重ねながら、必勝体制で臨んでいきたい。

問 前回は三月に候補予定者の推薦を決定しようということだったが、決め方が民主的ではないのではないかと指摘などもあり今回に延びていると理解している。選挙委員会は民主的に運営されたのかお聞きしたい。また、第二十回の選挙は他団体を応援するという

ことを聞いた記憶があるが、そのあたりはどうなっているのか。

答 候補者選考委員会は各ブロック長八名と日技連盟役員三名が委員となり、民主的に運営されたと自負する。後段の質問だが、厳しい局面もあつた。しかし、誠意を込めてお話し、クリアできている。

第三号議案関係

問 連盟で考えている十一ブロック分割案というのは連盟のみのブロック構成と考えるとよいのか。東京が単独ブロックとなつているのであれば、大阪も同様の考えはないのか。

答 連盟のみのブロック割と考えている。また、大阪を抜いて関西圏を分割することが難しいことを考慮した。

問 政治活動資金として日技連盟から都道府県技連盟に活動費を交付する考えはあるか。

答 二段構えくらいで交付金を交付することを考えている。

問 いわゆる選挙プロと呼ばれる人たちがいるが、そういう人を雇うような考えはないか。

答 前回選挙については、全く初めてということもあり、然るべきところから然るべき人をご紹介したい。

問 経緯がある。比例代表をやる専門家は非常に少ないので、また、然るべきところと相談させていただいて、その方向で対処していきたい。

は論理に矛盾がある。多くの働く女性が前向きであることに異論は無いが、専業主婦が人生に前向きでないことが判断できるのか。働く女性は子供を産みたいというが、現実的な数字はそれと立証していないではないか。あまつさえ、変な生命力とか人間を淘汰するなどの発言はとんでもない。この委員は、平日頃よりテレビなどで正論を主張される方だと敬服していたので、残念である。●要は専業主婦の控除を廃止すれば少しは納税額も増え、それにより働くことになった主婦からは、所得税も徴収できるという一石二鳥を目論んだ施策なのであるが、根本はそこにはないと思える。●少子社会を是正する教育なり、政治施策なりを確立しなければ、今は消費税の増税などで賄えるかもしれない。国庫収入が、いや、それが消滅する。

第2号議案 平成16年度会計収支決算の承認を求める件

平成16年度 一般会計収支決算書

(自：平成16年4月1日 至：平成17年3月31日)

| 収入の部 | | | | |
|-----------------------|-----|------------|------------|-------------|
| 政治資金収支報告書による収入科目 | 科目 | 平成16年度予算額 | 平成16年度決算額 | 差 |
| 1. 個人の負担する党費又は会費 | 会費 | 61,920,000 | 59,151,200 | 2,768,800 |
| 2. 寄附 | | | | |
| (1) 個人からの寄附 | | | | |
| (2) 法人その他の団体からの寄附 | | | | |
| (3) 政治団体からの寄附 | | | | |
| 3. 機関紙誌の発行その他の事業による収入 | | | | |
| 4. 借入金 | | | | |
| 5. その他の収入 | 雑収入 | 50,000 | 830,322 | △ 780,322 |
| 6. 前年度繰越金 | | 28,000,000 | 29,267,157 | △ 1,267,157 |
| 合計 | | 89,970,000 | 89,248,679 | 721,321 |

| 支出の部 | | | | |
|------------------|-------------|-----------|-----------|---------|
| 政治資金収支報告書による支出科目 | 科目 | 平成16年度予算額 | 平成16年度決算額 | 差 |
| 1. 経常経費 | (1) 人件費 | 100,000 | 35,000 | 65,000 |
| | (2) 光熱水費 | 50,000 | 0 | 50,000 |
| | (3) 備品・消耗品費 | 150,000 | 60,368 | 89,632 |
| | (4) 事務所費 | 8,400,000 | 8,144,271 | 255,729 |
| | | 1,000,000 | 960,000 | 40,000 |
| | | 9,700,000 | 9,199,639 | 500,361 |

| 支出の部 | | | | | |
|------------------|--------------------|------------|-------------|-------------|------------|
| 政治資金収支報告書による支出科目 | 科目 | 平成16年度予算額 | 平成16年度決算額 | 差 | 備考 |
| 2. 政治活動費 | (1) 組織活動費 | 800,000 | 409,640 | 390,360 | 都内出張費、交通費 |
| | 交通費 | 3,300,000 | 2,270,180 | 1,029,820 | 地方出張費 |
| | 印刷費 | 1,200,000 | 894,718 | 305,282 | 文書封筒等印刷費 |
| | 会議費 | 10,500,000 | 8,768,640 | 1,731,360 | 評議員会、総務会等 |
| | 交際費 | 2,200,000 | 1,614,251 | 585,749 | 中元、歳暮品代等 |
| | 渉外費 | 4,800,000 | 3,907,013 | 892,987 | 対外渉外費 |
| | ⑤ 小計 | 22,800,000 | 17,864,442 | 4,935,558 | |
| | (2) 選挙関係費 | 100,000 | 0 | 100,000 | |
| | 交通費 | 600,000 | 68,980 | 531,020 | |
| | 印刷費 | 500,000 | 2,205 | 497,795 | |
| | 会議費 | 300,000 | 0 | 300,000 | |
| | 通信費 | 100,000 | 0 | 100,000 | |
| | 陣中見舞 | 300,000 | 150,000 | 150,000 | |
| | ⑥ 小計 | 1,900,000 | 221,185 | 1,678,815 | |
| | (3) 機関紙誌の発行その他の事業費 | | | | |
| | 機関紙誌の発行事業費 | 3,500,000 | 2,550,725 | 949,275 | 機関紙「れんめい」等 |
| | イ. 宣伝事業費 | | | | |
| | ウ. その他の事業費 | | | | |
| | (4) 調査研究費 | 600,000 | 459,240 | 140,760 | 資料・書籍購入費等 |
| | (5) 寄附・交付金 | 19,000,000 | 6,698,000 | 12,302,000 | 寄附・会費等 |
| | 交付金 | 5,000,000 | 963,760 | 4,036,240 | 地元活動費等 |
| | (6) その他の経費 | 10,000,000 | 20,000,000 | △10,000,000 | 当年度積立 |
| | 雑 | 200,000 | 190,840 | 9,160 | 諸雑費 |
| | 予備費 | 17,270,000 | 0 | 17,270,000 | |
| | ④ 小計 | 55,570,000 | 30,862,565 | 24,707,435 | |
| | ⑤ 小計 | 31,100,848 | △31,100,848 | | |
| 合計 | | 89,970,000 | 89,248,679 | 721,321 | |

平成十六年度会計収支決算書

今後の政治活動に支障のきかない程度に交付は行っていききたい。

問 医療技術者団体との連携を深めたことだが、今回の八万何万がしの中でどの程度の協力があつたか把握しているか。

答 ご承知のように記名投票ではないので、何処の誰がというところは把握できて



医師会の専務に面談を申し入れ、歯科技工に係る告示を遵守する手法を提示いただきたくと伝えた。

それ以外にあらゆる機会を通じて国会議員の先生方に懸念に現状を報告し、改善を求めている。また、地方を通じて、それぞれの推薦候補者には同様な申し入れを日常的に行っているところである。

問 第二十二回参議院議員通常選挙において都道府県歯科技工士連盟が拠出した費用が明記されているが、執行部としてどう捉えているか、考えをお聞きしたい。

答 各県技連盟として苦しい台所事情の中、御協力いただいたことに深く感謝する。公職選挙法や政治資金規正法に違反するような形はとれないが、通常の政治団体から政治団体への寄附(交付)は可能なので、その範疇で各都道府県連盟が

力なアプローチをしてきている医療技術者団体はいくつかある。

日本歯科医師連盟会長にお会いして、我々の考え方を率直に伝え、認めていただいた。可能な範囲で医療関係職種などの団体にお声掛けし、少しでも支援いただけるような努力は今後も続けていきたい。

ことを聞いた記憶があるが、そのあたりはどうなっているのか。

答 候補者選考委員会は各ブロック長八名と日技連盟役員三名が委員となり、民主的に運営されたと自負する。後段の質問だが、厳しい局面もあつた。しかし、誠意を込めてお話し、クリアできている。

倍の票を獲得しなければならぬと考える。選挙委員会で倍の票を獲得する見込みがあつて候補予定者を推薦したのかというところをお聞きしたい。また、我々にお聞きしたいと判断してよいのか。

答 選挙委員会の使命は票を倍にすることを検討することではなく、誰を候補予定者として選挙するかということ。選挙に風はつきものだが、今のところ次回の選挙も十五、六万が一つのボーダーラインと考えていると思う。今後も皆さんと会議を重ねながら、必勝体制で臨んでいきたい。

問 前回は三月に候補予定者の推薦を決定しようということだったが、決め方が民主的ではないのではないかと指摘などもあり今回に延びていると理解している。選挙委員会は民主的に運営されたのかお聞きしたい。また、第二十回の選挙は他団体を応援するという

ことを聞いた記憶があるが、そのあたりはどうなっているのか。

答 候補者選考委員会は各ブロック長八名と日技連盟役員三名が委員となり、民主的に運営されたと自負する。後段の質問だが、厳しい局面もあつた。しかし、誠意を込めてお話し、クリアできている。

は論理に矛盾がある。多くの働く女性が前向きであることに異論は無いが、専業主婦が人生に前向きでないことが判断できるのか。働く女性は子供を産みたいというが、現実的な数字はそれと立証していないではないか。あまつさえ、変な生命力とか人間を淘汰するなどの発言はとんでもない。この委員は、平日頃よりテレビなどで正論を主張される方だと敬服していたので、残念である。●要は専業主婦の控除を廃止すれば少しは納税額も増え、それにより働くことになった主婦からは、所得税も徴収できるという一石二鳥を目論んだ施策なのであるが、根本はそこにはないと思える。●少子社会を是正する教育なり、政治施策なりを確立しなければ、今は消費税の増税などで賄えるかもしれない。国庫収入が、いや、それが消滅する。

JDTA

50th

Commemoration for the Semi-centennial Anniversary of the Japan Dental Technologist Law and Foundation of JDTA
Japan Dental Technologists Association [JDTA]
Date ; Sunday, September 18, 2005
Venue ; Tokyo International Forum

2005年は歯科技工士法制定ならびに
日本歯科技工士会創立50周年の年です。

和而不同

●政府税制調査会が六月二十一日、個人所得税の見直しに関する報告書を公表した。報告書では、様々なゆがみや不公平を是正し公平・中立・簡素な税制を構築していく必要があるとしている。そして、平成十八年度は定率減税の廃止、所得税から個人住民税への本格的な税源移譲が必要と提言している。一方で、各種控除については軒並み見直しの方針が打ち出された。●サラリーマンのみなし経費とされる給与所得控除では、経費が適切に反映されるような柔軟な仕組みに制度改正する必要性に言及し、老後の生活保障に言及し、今後の生活保障的な役割を担っている退職所得への税の軽減措置である退職所得控除も制度を見直す必要がある。●これは、おそれるべきところから然るべき人をご紹介したい。